

▼今回のポイント

- ☑ タクシードライバー 下浦友美さん(小倉営業所所属)
- ☑ 女性ドライバーも働きやすい職場
- ☑ 下浦さんから女性ドライバーを目指す方へ

【入社のきっかけ】

今回は、タクシードライバーの下浦さんに話を伺います。下浦さんは、小倉営業所に所属しており、子育てしながら勤務するママさんドライバーの一人です。

入社前にハローワークの窓口でタクシードライバーの求人を勧められたのがきっかけで、この道を選んだという下浦さんですが、入社前は不安もあったと本音を語ってくれました。

下浦さん「最初は完全に男性社会だと思っていたので、うまく働けるかなと不安がありましたし、タクシー運転手についての情報も全く持っていませんでした」

そこから、実際に第一交通の仕事現場へ会社見学に行き、女性専用の更衣室やトイレを見たり、担当者と働き方について意見交換をする場が設けられる中で、少しずつ印象が変わっていったといいます。今では「不安を払拭できて、安心して働いています」と語ります。

【女性ドライバーの働きやすさ】

下浦さんに、第一交通の女性ドライバーの働きやすさを伺うと、休みが取りやすいことだといいます。

子どもの急な体調不良で早退・欠勤しなければならない時にも、「早く帰ってあげて」と送り出してくれる、そんな環境に感謝していると下浦さんは語ります。同時に、休んだ分は後から挽回できる、頑張ればOKという風土もあるそうで、下浦さんは「自分の家庭の都合や、わがままだと認識していることに関しても受け入れていただいているので、こんなに考えてくれているからこそ私も頑張ろうという気持ちになります」といいます。

【女性会議に参加して】

また、下浦さんは2023年12月に行われた女性会議(女性タクシードライバーが働きやすい体制づくりの一貫として行っている※Vol.8参照)に参加した一人です。

普段は中々会う機会の少ない、他の営業所のドライバーと交流ができたことも下浦さんの印象に残っているようです。下浦さんは「タクシードライバーとしてスキルアップをしていきたい。その積み重ねが自分の中で溜まっていったら将来の展望が見えてくるはず」と、良いタクシードライバーを目指す、と強調していました。

【女性ドライバーを目指す方へメッセージ】

下浦さん「最初は分からないことばかりだと思います。私自身もそうでした。実際にどういう現場で、どんな働き方ができるのか、全く分からない状態からのスタートだと思いましたが、**ちゃんと教えてくれる環境が第一交通にはあります**」

「タクシードライバーという職種は、ある意味一人で行う仕事のようにも感じられますが、困ったことは周囲に気軽に尋ねられる環境があるので、これから女性ドライバーになろうという人にも安心してもらえると思います」とメッセージを送りました。